

授業実践例

実践事例資料 第1学年2組

特別活動「じしんが おこったら どうする」

【本時の目標】(防災教育の視点①:『知識・危険予測』)

地震が起きた場合の危険を予測し、安全な行動の仕方を理解することができる。

学習過程	授業の流れと児童の反応
<p>導入</p> <p>つかむ</p>	<p>熊本地震の後の部屋の中です。どうなっていますか。</p>  <p>倒れる、落ちる、動いていますね。</p> <p>めあて 大きな地震の時、学校の中で どんな 危険が あるか 考えよう。</p> <p>主な発問1 教室では、どんな危険がありますか。</p>
<p>展開</p> <p>かんがえる</p> <p>ふかめる</p>	 <p>つくえが動いてきます。</p>  <p>本棚が倒れてくると思います。</p> <p>主な発問2 図書室・ホール・中庭での危険をペアで考えましょう。</p>  <p>図書室は、本が落ちてくるかもしれないね。</p>  <p>中庭は、一輪車が倒れてくるかもしれない。</p> <p>主な発問3 ペアで話し合ったことを発表しましょう。</p>
<p>まとめ</p> <p>まとめる</p>	 <p>ホールでは、時計の下が危ないです。わけは、落ちてくるかもしれないからです。</p> <p>ガラスを踏まないように、上靴を履こう。</p>  <p>まとめ 大きな地震の時、落ちる・倒れる・動いてくる危険がある。</p>

【成果〇と課題●】

- 本時の学習を通して、危険個所を「3つの危ない」(「落ちる・倒れる・動いて来る」)に集約することができた。この「3つの危ない」は、様々な場所における危険発見の判断基準(めやす)になることを全員で確認した。「3つの危ない」は全学年で共通用語として使っていくことを確認することができた。
- ▲ 今回は「学校の中で地震が起きたら」という設定であった。日常の避難訓練や様々な機会を通して、別の場所で地震が起きた時の、身の守り方についての意識の向上を図っていくことが課題である。

<仮説2>

日常活動の工夫

気付く

集会活動の工夫 (いのちと防災の日)

毎月16日を「いのちと防災の日」として1次避難+2次避難を行ったり、学年や代表児童による発表や教員によるいのちや防災の講話を実施し、児童の防災への意識の向上を図っています。



【いのちと防災の日の集会活動】

判断する

聞き取り訓練の工夫

週に1回程度の聞き取り訓練を継続的に行っています。「だんご虫ポーズ」「防災頭巾」等の防災キーワードを放送し、給食時間に正解のキーワードとその解説を放送しました。聞き取りカードには、聞き取ったキーワードを記録するとともに、話をやめる・動きを止めることができているかを振り返らせています。

6年1組記録

日付	今日の放送	とまる	しべらない
5/2	だんご虫ポーズ	◎・○・△	◎・○・△
5/3	防災頭巾	◎・○・△	◎・○・△
5/4	防災頭巾	◎・○・△	◎・○・△
5/5	だんご虫ポーズ	◎・○・△	◎・○・△
5/6	十人十人	◎・○・△	◎・○・△

【聞き取り訓練シート】

行動する

避難訓練の工夫

6のつく日の休み時間に緊急地震速報を流し、ショート避難訓練(1次避難:揺れがおさまるまでは身を守る行動をとる→放送等で避難先を知る)を行っています。訓練の後には、「ふりかえりシート」に訓練の反省や次回のめあてを記入させています。



【振り返りシート】

日常的学習訓練の徹底

(「聞く」「伝える」学習態度の育成)

学習の約束として『やべっ子まなびのやくそく』を全クラスに常設し、「しっかり聞く」「はっきり伝える」指導を徹底しています。

学習内容の共有化 (学びの履歴)

各学年で取り組んだ授業の様子を紹介するコーナーをホールに設置しています。授業で使った資料や児童がまとめた応用紙や感想などをパネルに掲示し、全児童へ啓発しています。

<仮説3>

地域防災教育の工夫



防災家族会議の実施 防災通信(「つなぐ」)の発行

災害時の避難方法や緊急連絡先をはじめ、様々な防災の取組について家族で話し合う「家族防災会議」を実施し、また、学校での防災教育の取組の様子を防災通信(「つなぐ」)で定期的に伝え、啓発を促しました。

合同避難訓練・ 引き渡し訓練の実施

授業参観日に保護者との合同避難訓練及び引き渡し訓練を実施しました。



【防災通信「つなぐ」】



【引き渡し訓練の様子】

☆成果と課題☆

○継続的に避難訓練に取り組んだことで、1次避難から2次避難への行動がスムーズに行えるようになってきた。また、聞き取り訓練に継続的に取り組んできたことで、休み時間であっても放送時は動きを止め放送の声に静かに耳を傾ける様子が見られるようになってきた。
 (【グラフ1】「よく聞いている」H28.12月46% ⇒H29.7月66%)

○家族防災会議や合同避難訓練等に取り組んだことで、保護者の防災への意識の高まりが見られた。
 (【グラフ2】「よく知っている」H28.12月8% ⇒H29.7月14%)

▲地区ごとの避難訓練等の実施に向けて、どのような連携を図っていけばよいのか、話し合いの設定等も含めて考えていく必要がある。

